

時間	20分
合格	40点
得点	50点

① 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。
今から八年前、昭和二十三年一月のことである。中川先生は、卒業ま近い三年生に、「将来の希望」という題で、作文を書かせたことがあった。

「会社員になりたい」「科学者になって国のためにつくしたい」「幼稚園の保育になりたい」「ナイチンゲールのような心の美しい看護婦になりたい」など、(①)は、色とりどりだった。先生は、時間のたつのもわずれて、楽しく、生徒の作文を読んだ。そして、その中に、ひどくかわっている二つの作文をみつけた。

一つは、「くつ屋になりたい」という題の作文で、岡田三吉という、せいが低く、成績も悪かったが、性格の明るい少年の作文だった。

くつ屋になりたい

岡田三吉

ぼくの父は、くつ屋でしたが、ぼくの小さいころなくなったので、顔は覚えていませんが、(②)のいい職人だったそうです。父は(③)ぐせに、「日本一のくつ屋になるんだ。」と言い、ぼくが生まれたときも、「むすこは、日本一のくつ屋にするんだ。」と言っていたそうです。

(④)、ぼくは、くつ屋になろうとは思いませんでした。工作は好きだけれど、一日じゅうすわりこんで、くつをぬうことを考えると、ゆううつになったからです。母も、ぼくをくつ屋にしたいと考えていなかったようです。ところが、去年の夏、母といっしょに金沢市のデパートに行ったときの事です。りっぱなくつ売り場の主人に、母が「いいねい」(⑥)をさげました。そのあとで、母が言いました。「あなたの方は、おとうさんの友だちで、競争相手だった人です。今では、北陸地方でいちばん大きい

くつ屋の主人に出世なさった。」と言い、しばらくして、「*」と、ぼつりと言い、さびしそうな顔をしました。

(砂田 弘「日本一物語」)

(1) (①)に当てはまる言葉を文中から五字でぬき出しなさい。(10点)

将来の希望

(2) (②) (③) (⑥)には体の一部を表す言葉が入ります。すべてひらがなで答えなさい。(6点×3)

②(うで) ③(くち)

⑥(あたま)

(3) (④)に入る言葉を次から選んで、記号で答えなさい。(6点)

ア だから イ そのうえ

ウ すなわち エ しかし

(エ)

(4) 線⑤の意味を次から選んで、記号で答えなさい。(6点)

ア 元気が出てくること

イ 気が散ってしまうこと

ウ 気持ちが晴れないこと

エ いらいらすること

(ウ)

(5) 「*」部分に入る母の言葉として最も適当なものを選んて、記号で答えなさい。(10点)

ア おとうさんにも夢があったのかしら。

イ おとうさんもあの方に会いたいですよ。

ウ おとうさんも、生きていらっしやったらね。

エ おとうさんとあなたはそっくりね。

(ウ)